

学校教育目標

豊かな心で、たくましく、夢に向かって学び続ける子どもの育成

めざす子ども像

- 相手の立場で考え、励まし合い、助け合う子ども
- よりよくしようと工夫し、努力する子ども
- 関わりの中で生き生きと学ぶ子ども
- 村の自然を愛し、村との関わりを深めようとする子ども

研究主題

「主体的に課題解決に取り組む子どもの育成（2年次）
～学習課題とまとめを大切に算数科の授業を通して

研究を通して育てたい子どもの姿

解決への意欲をもち、自分なりの考えをもって学習に取り組む子ども

段階的に考えながら課題解決ができる子ども

関わりの中で学び、自分の思考過程を筋道を立てて表現できる子ども

研究の仮説

- ・学習課題とまとめを子どもの声を活かしながら作り上げていくことで、課題解決へ向かって意欲的に学習に取り組む子どもが育つのではないか。
- ・思考過程のパターン化や可視化を図ることで、段階的に考えながら見通しをもって、課題解決ができる子どもが育つのではないか。

育てたい子どもの姿にせまるために

(1) 主体的な課題解決 (平成28年度の重点施策)	(2) 思考過程の重視 (平成27年度の重点施策)	(3) 基礎・基本の確実な習得のために
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと教師が一緒に作り上げる課題 ・算数的活動の充実 ・見通しをもった自力解決 ・課題解決の手立てとなる教材と教具 ・タブレットパソコン・インタラクティブボード・デジタル教科書などのICT活用 ・子どもの言葉を活用したまとめ（学習課題とまとめの整合性） 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問の吟味 ・必要な情報の確認・整理 ・思考過程のパターン化、可視化 ・学習形態の工夫（ペア・グループで交流） ・関わり合いながら比較・検討する場の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導委員会との連携 ・まとめを確かめ活用する場の設定 ・ドリル学習や全校算数テストなどによる基礎・基本の定着 ・単元評価問題の活用 ・NRTや学習状況調査などの結果分析による授業改善 ・全学年の統一したノート指導 ・家庭学習の習慣化と定着